

小学校第6学年国語科単元プラン

平成25年7月5日(水) 5限

指導学級 大分市立中島小学校6年1組

指導者 伊勢 博子

1 単元名 ようこそ、わたしたちの町へ

～わたしたちの大分のパンフレットを作ろう～

2 単元にかかる児童の実態

(1) 児童の実態

児童はこれまで『仕事リーフレット』を作ろう(4年生)で取材や構成の仕方を、また「新聞を作ろう」(4年生)では構成や編集の仕方等の学習を経験している。だが、作品の完成までかなりの時間を要し、途中途中で小刻みな点検や指導があってようやく完成にたどり着いている状態である。そのため、互いの考えを交流し、構成や表現の効果を確かめて修正までするという機会が少なく、また何度も読み直してより良い表現を吟味するといった経験も十分ではない。さらに、各教科の学習や総合的な学習の時間を含め、課題を解決するために図書資料やインターネットのホームページ、雑誌、新聞で調べるといった学習経験が少ないのが実態である。さらに、国語科で身に付けた力が他の教科や総合的な学習の時間の課題解決の際に十分に活用されていない実態が見られる。

2) 教材について

本教材は、大分のことをあまり良く知らない人達に自分が住んでいる大分の良さや大分らしさを紹介するパンフレットを作るものである。私達の住む大分を今一度見直し、自己を育んでくれた郷土の良さを自ら見つけるという、郷土を愛する視点を育むことができる。また、学習指導要領に「目的や意図に応じた編集として、章立てや節などを工夫するとともに、題名や前書き、目次、後書き、奥付などを付け、実際の本や新聞、雑誌などの編集に合わせる事が大切である。」とあるが、実際のパンフレットを手にし、その形や特徴を捉えながら学習に取り組みさせていくことができる。さらに、自分が必要な情報を自ら手に入れ、必要な情報を探して何度も繰り返し読むという学習活動が期待できる教材でもある。

(3) 指導について

私たちの住む大分を紹介し、「多くの人達に行ってみたいという気持ちになってもらえるようなパンフレットを作ろう」という相手意識と目的意識をしっかりと持たせ、また見本のパンフレットを見せることで、モチベーションを持続させたい。完成に至るまでの学習活動の一部を子ども達自身で計画を立て自力で学習を進めさせ、主体的な学習態度を育てたいと考える。さらに、自分の作ったパンフレットの構成や表現の効果を直接読み手に確かめ、その手直しの時間を確保することで、より磨かれた表現に仕上げていくような書く力を身に付けさせたい。その際学校教育目標のキャッチフレーズ「きらり輝く」に繋げて「友達の作品の『きらり輝く』所を見付け、『さらに素敵にきらり輝く』作品にしよう」と学習を展開し、「交流」では、「伝えにくいことを伝える」で学習したことを活用させる等して、相手の評価により自己肯定感を育むことができるよう、「仲間と磨き合うことに意味があること」や「仲間によって自分が育っていることが実感できる」体験を積ませたい。

3 単元の指導目標

○構成や材料の配置、記述等、表現の効果を考えてパンフレットを作る。

- 1 大分の良さが、多くの人たちに伝わるようにパンフレットを作ろうとしている。 (関・意・態)
- 2 図書資料やインターネットのホームページ、市町村のパンフレット等の集めた資料から必要な文を引用したり、写真や地図、イラストを効果的に用いたりして自分の伝えたいことが伝わるように書くことができる。 (書く・エ)
- 3 表現の効果を考えて文章全体の構成やタイトル、目次、見出し、リード文、解説文などを工夫することができる。 (書く・オ)
- 4 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、目的に応じた構成を選んで書いている。 (伝国-イ(キ))

4 この単元の言語活動

○大分の良さを伝えるためのパンフレットを作る。

5 指導と評価の計画（全12時間）

次	時	学習活動	形	指導上の留意点	指導過程における評価規準と評価方法
一	1 2	①大分の良さや他の地域とは違う特徴を出し合う。 ②「多くの人達に大分の良さを知り、大分を好きになってもらうパンフレットを作ろう」という学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。 ③集めて来た色々な種類のパンフレットを見て、内容や書き方等の特徴を調べる。 ④学習計画を立てる。	全 全 個 個	①自分達が住む大分について、知らないことが多いことを自覚させ今後の取材活動の意欲につなげる。 ②学習のねらいとパンフレットの見本を示し、学習の見通しを持たせる。 ③これまで学習したことがあるリーフレットや新聞等と比較しながら特徴をとらえさせる。 ④自力学習の部分を充実させる。	①大分の良さを紹介するパンフレットを作成することを理解し、作成に意欲を持っている。(ノート・観察)
二	3 4 5 6 7 8 9 10 11	⑤どんなパンフレットにするか構想を練る。 構想 ⑥情報を収集する。 取材 ⑦集めた情報を整理し、パンフレット全体の構成を考え、目次や割り付けを考える。 構成 ⑧自分の伝えたいことが相手に伝わるように見出しやリード文等読み手を引きつける工夫して下書きをする。 記述 ⑨友達に読んでもらい、工夫したことが効果的に伝わっているかを確認する。 ※本時 ⑩確認したことを参考にして下書きを修正する。 ⑪推敲をし、清書してパンフレットを完成させる。	全 個 個 全 個 全 個 個 全 個 個	⑤県や市の資料や、友達あるいは家族の話を参考にさせながら、何を取り上げるか自分がすすめたい事物を決めさせる。 ⑥取材計画「いつ、(誰に)、何を、どうやって」等を明確にさせる。できるだけ多様な方法で取材する様にさせる。 ⑦既習事項「取捨選択」や「引用」(出典・言葉の使い方)を想起し、効果的な割付を考えさせる。 ※付箋紙の活用 ⑧キャッチコピーの作り方を理解させる。 〔 修飾語、倒置法、比喩法、反復法 体言止め、五七調、呼びかけ等 ※パンフレットから見付けた効果的な言葉や表現の活用 ※全国学力学習状況調査A問題の活用〕 ⑨交流して、表現の効果を相手に確かめさせる。 ※作者の意図を確認する。 ⑩取り入れたいアドバイスを基に見直しをして下書きを修正する。 ⑪表記に気を付けて推敲、清書させる。	②集めた資料から必要な文を引用したり、写真や地図、イラストを効果的に用いたりして自分の伝えたいことが伝わるように下書きをしている。(割付用紙・下書き・観察) ③文章全体の構成やタイトル、目次、見出し、リード文、解説文などの効果を確認できる。(下書き・ワークシート・ホワイトボード・観察)
三	12	⑫パンフレットを読み合って、作品の良さを交流する。 交流 ⑬単元全体の学習を振り返る。	個 全	⑫完成した作品を読み合い、感想を交流させる。 ・読み合う観点を示す。 ・作品の良さを付箋紙に記入する。 ・「評価・判断を表す言葉」教科書を参考にする。 ⑬単元全体の学習を振り返る。	

本時案 (10/12)

1、ねらい (主眼)

パンフレットを読み合い表現の効果を見つれたり確かめたりする活動を通して、表現の工夫の仕方を見つけることができる。

2、授業仮説

交流の場において、相手の表現の工夫とその効果を見つれたり自分の表現の工夫がどう相手に伝わっているのかを確かめたりすることによって、パンフレット作成における表現の工夫の仕方を身に付けることができるであろう。

3、展開(45分)

展開	学習活動	形	指導及び支援	指導過程における評価規準と評価方法
導入 5	1. 学習の目標を知り、課題を確認する。	全	○本時の学習の目標と流れを確認し、今日の授業のゴールをイメージさせる。 効果的な表現の工夫はどのようにすれば良いかわかる。	
展開 35	2. ペアで互いのパンフレットを読み合い、工夫している点を見付けたり、さらに工夫したりすると良い点を見つける。 3. モデルの児童の作品の良さを見つけ、さらにこうしたらもっと良くなるというアドバイスをする。	全 ペ	友だちのパンフレットの「きらり輝く」所を見付け、さらに素敵に「輝く」パンフレット作りの手助けをしよう! ○ペアで互いのパンフレットの良さを交流させる。 ・「きらり輝く良さ」を見つけ「さらに素敵に輝く」ためのアドバイスを考えさせる。 ・作成意図を確認する。 ※「伝えにくい～」学習を想起 《視点》 ※自分の体験を踏まえた発言 〔表現→タイトル・見出しの言葉 文字の形、大きさ等 内容→どんな情報や内容が入っているか 構成→配置(レイアウト) 写真・地図・イラスト等の使い方 《使用させたい学習用語》 「意図」「表現」「構成」「レイアウト」「効果」 交流の目的・方法 〔目的～互いのパンフレットをさらに良くする方法～・ホワイトボードにキーワードで示す ・学習用語を使う ○ペアの相手にパンフレットの良さと、さらにこうしたら良い点についてみんなに伝えさせる。 ○全体からも考えを出させる。 ○本人に「作成意図」やこれからの「構想」を語らせる。 交流の目的・方法 〔目的～表現の工夫をする視点がわかる。 方法～ペアの交流をもとにして	○文章全体の構成や本文、目次やタイトル、見出し、リード文、解説文などの表現の効果を確認、さらにどんな工夫をすれば良いかを考えている。 3(ワークシート・ホワイトボード・観察) C層の児童への支援 ・個々の児童の得意な視点に絞り、その視点で見付けさせる。
終末 5	4. 学習の振り返りをする。	個 全	○本時の学習を通して学んだことを伝え合う。 《振り返りの視点》 ・目標に照らし合わせる ・学習の過程を振り返る ・学習用語を使う。 ・変容を確かめる。	

12時間
扱い

重点とする指導
事項
エ、オ

具体的な言語活動
大分の良さを伝えるパンフレットを作る

言語活動例

「事物のよさを多くの人に伝えるため
の文章を書く言語活動」を通して指導

言語活動	ア・イ・ウ・他	指導事項	学習活動	評価規準	時
指導事項	ア	考えた事などから書くことを決め、目的や意図に応じた書く事柄を収集し、全体を通して事柄を整理すること。	学習の見通しを持ち、パンフレットの特徴を理解し、自分がすすみたいテーマを決定し、インタビュアーや資料集めに取り組み、集めた資料を取捨選択する。		1、2、3、4、
	イ	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。	パンフレットの全体構成を考え、表紙、中身、裏表紙それぞれの割付をする。		5、6
	ウ	事実と感想、意見などを区別すると共に、目的や意図に応じた簡潔に書いたり詳しく書いたりすること。	資料を基に、具体的なおすすめのスポット等の紹介や自分の感想、意見を交えた文章を書く。		7
	エ	引用したり、図表やグラフなどを利用したりして、自分の考えが伝わるように書くこと。	資料から引用したり、インタビューをしたりして自分の考えたことを書く。	集めた資料から必要な文を引用したり、写真や地図、イラストを効果的に用いたりして自分の伝えたいことが伝わるように下書きをしている。(割付用紙・下書き・観察)	8
	オ	表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。	ペアの相手に自分が表現を工夫したことなどの程度伝わっているかどうかを確認し、それを参考に手直しをし、推敲、清書する。	文章全体の構成やタイトル、目次、見出し、リード文、解説文などの効果を確かめ工夫することができる。(下書き・ワークシート・ホワイトボード・観察)	9 10 11
	カ	書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。	お互いにパンフレットを読み合い、その良さを交流する。		12
(1)イ(キ)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項				
国語への関心・意欲・態度に関する評価					
大分の良さを紹介するパンフレットを作成することを通して、作成に意欲を持っている。(ノート・観察)					

多くの人達に大分の良さを知り行ってみたいと思わせるパンフレットを作る

引用って何ぞ？

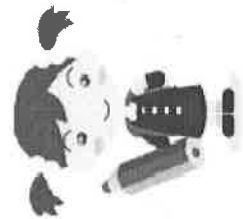
六年 組 番 名前

引用の意味

|| 他人の言葉や文章の一部などを引いてきて、自分の話や文章の中で使うこと

参考文献や資料を引用する際に気を付けたいことを確認しよう。

- ①必ず出典を明示する。
- ②分量は、自分の考えの一部になるように制限する。
- ③直接引用の時は、正確に引用する。



引用するときに使いたい言葉

- ・『書名』（著者名・出版者・発行年）によると、～
- ・施設の人のお話によると～
- ・（人名・団体名）の情報では次のように述べている。
- ・（人名・団体名）によると「 」とのことである。
- ・（人名）の結論はこうである。「 」
- ・（人名）は～で「 」と強調している。
- ・資料「 」では、こうなっている。～
- ・「 」というわけである。

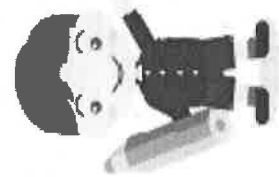
キャッチコピーを考えよう

キャッチコピーの意味

|| 人の注意を引く次の文を読んでもらえるようにする。

こんな工夫をするといいよ

- ・修飾語
- ・比喩法
- ・倒置法
- ・反復法
- ・体言止
- ・五七五
- ・呼びかけ



友達が一生けん命作ったパンフレットの★「きれい」と輝く工夫を見付けよう。

どのような工夫を
することでどんな効果
を生み出そうとして
いるのかな？

たくさん見
付けてね！

君のパンフレットのここが「きれい」★！

★その他

★構成

★内容

★表現

★表現はどうか？

- ・タイトル・見出しの言葉
- ・文字の形・大きさ等

★内容はどうか？

- ・どんな情報や内容か

★構成はどうか？

- ・配置(=レイアウト)
- 「表紙」「中身」「裏表紙」
- ・写真、図表等と内容

★その他

こうすれば「もっときれい」★と輝くよ！

ワンポイント
アドバイスを
しよう！

どんな工夫を
すると、どんな
効果が出てく
るかな？

君のアドバイスで
友達のパンフレットは
もっと素敵になるよ～！



Blank rectangular box for student input.

平成二十四年度選抜高等学校野球大会選手宣誓の一部

宣誓。東日本大震災から一年、日本は復興の真つ最中です。被災をされた方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。

人はだれでも答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ

日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を。

見せましょう。日本の底力、絆を。

～宣誓が続く～

宣誓・・・多くの人の前でちかいを述べる事 復興・・・もとのように再び盛んになる事 絆・・・人と人とのつながり

■話し手がどんな工夫をすることで、どのような効果を生み出そうとしていますか。

[]